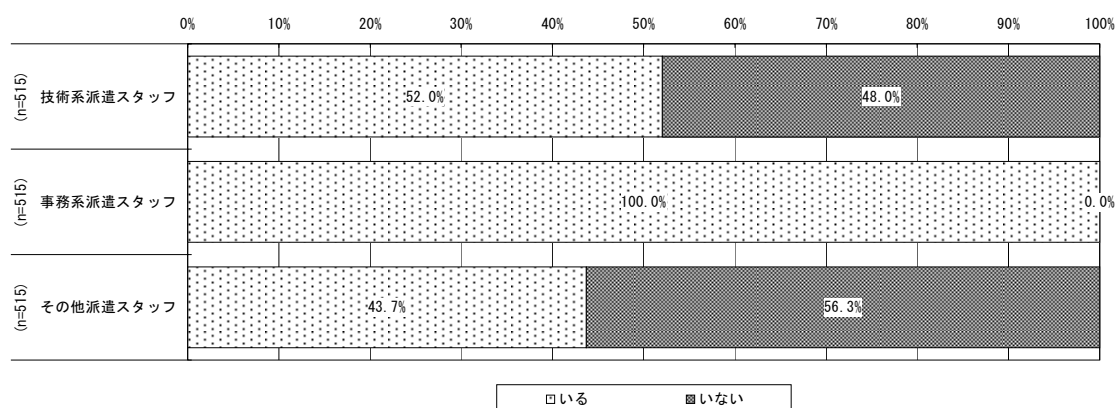


(3) 派遣スタッフの活用状況、活用方針

①職場における派遣スタッフの有無 (Pre_Q2)

本調査は、プレ調査で「事務系派遣スタッフ」が職場にいる人をスクリーニングし、調査対象としている。このため、全員が「事務系派遣スタッフ」が職場に「いる」と答えている。また、「技術系派遣スタッフ」については 52.0%、「その他派遣スタッフ」については 43.7%が職場に「いる」と答えている。



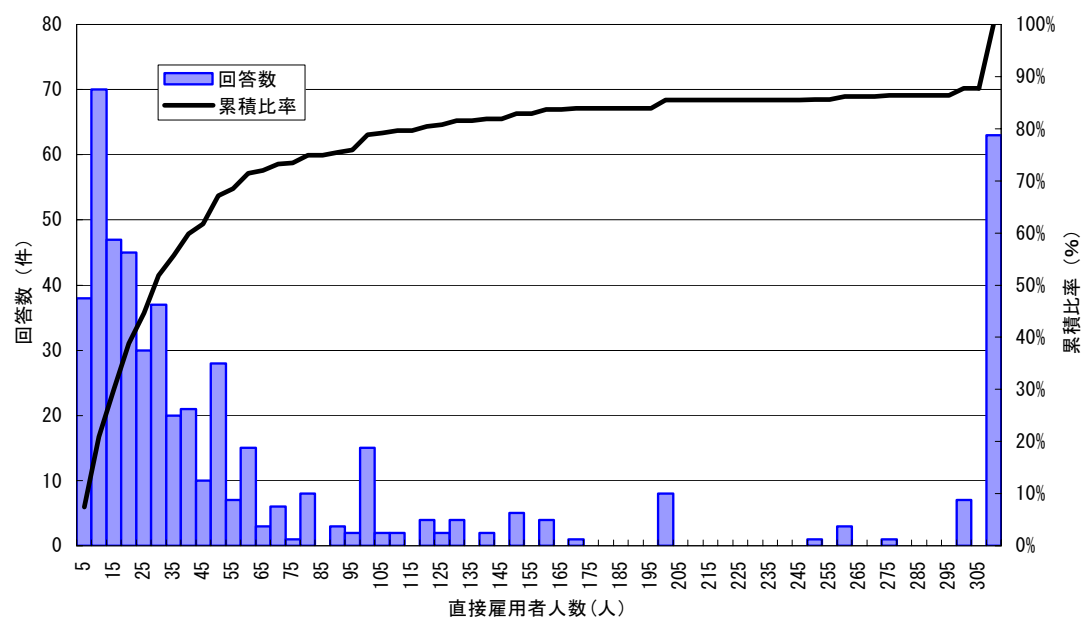
※ここでの技術系派遣とは、ソフトウェア開発（1号）、機械設計（2号）、建築設備運転、点検、整備の業務（15号）を指す。

※ここでの事務系派遣とは、自由化業務の一般事務のほか、事務用機器操作（5号）、ファイリング（8号）、財務処理（10号）、貿易事務・営業事務（国内取引文書作成）（11号）、受付・案内等（16号）、テレマーケティング（24号）を指す。

②職場の派遣スタッフの人数、比率（数量）(Q1)

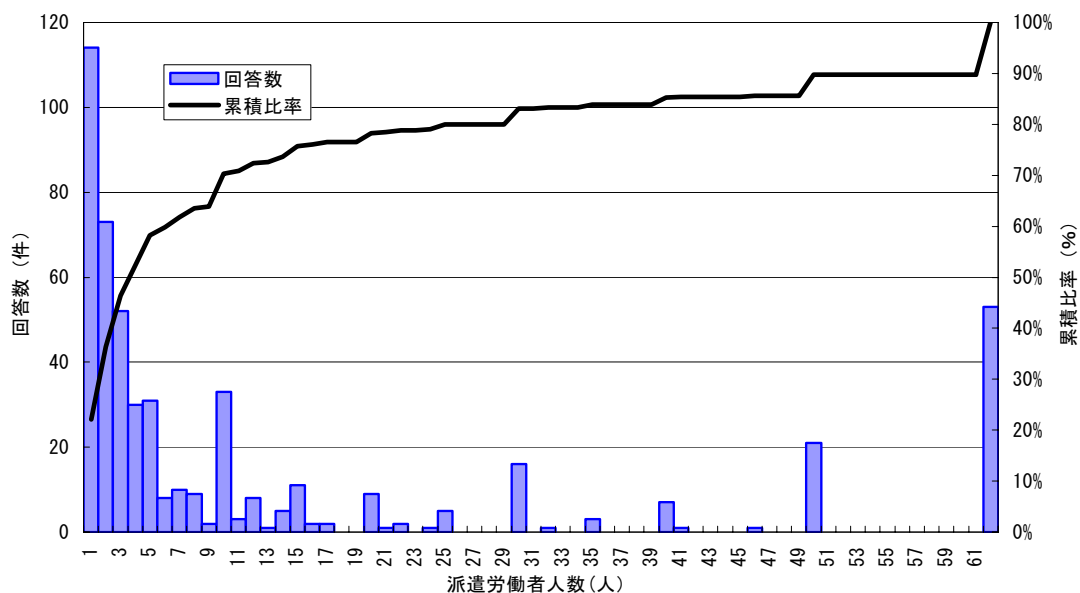
a) 直接雇用者人数

回答者が所属する職場（部署）の直接雇用者人数は、「6～10人」が最も多い。全体の累積比率を見ると、「30人以下」が全体の約5割、「300人以下」が約9割となっている。



b) 派遣労働者人数

職場（部署）の派遣労働者（職種は問わない）の人数については、「1人」が最も多い。累積比率で見ると、「4人以下」が全体の約5割、「50人以下」が約9割となっている。
※なお、サンプルには、過去には派遣スタッフが職場にいたが、調査時点では0人という8人を含む。



c) 派遣労働者比率

参考までに、職場の直接雇用者と派遣労働者（職種は問わない）の合計人数に対する派遣労働者人数の比率（派遣労働者比率）を算出し、その分布を確認したところ、「7～8%」が最も多くなった。

